

# 水害に強い まちづくりを めざして

水防災対策特定河川事業のご案内



# 豊かな環境を守りながら、より安全に、より潤いを!

「中国太郎」と異名を持つ江の川は、中国山地のほぼ中央を貫流して日本海に注ぐ、長さ、流域面積ともに中国地方最大の河川です。豊かな水を湛える川の周辺には、集落が発達し、多くの人々が生活しています。

しかし、有史以来、江の川流域は数々の洪水に見舞われ、幾度となく人々の暮らしを飲み込み、流し去りました。この悲惨な体験を教訓として、治水対策が着々と進められてきましたが、現在でも堤防の無い箇所や堤防の大きさが足りない箇所があり、早急な対策が必要です。

川は私たちの暮らしをいつも支えてくれています。その豊かな自然や景観を守りながら、共に生きていくために、河川の氾濫を防ぐことはもちろんのこと、環境に配慮した河川整備を行っていかねばなりません。



**江の川**

一級河川指定年度/昭和41年度  
河川数/293  
幹川流路延長/194.0km  
流域面積/3,900km<sup>2</sup>

(鳥根興・広島総合計画)

## 過去にはどんな水害があったの?

江の川流域は、古くから数々の大水を出し、沿川住民の暮らしを脅かしてきました。最近では昭和47年7月、昭和58年7月、昭和60年7月と度々大出水に見舞われ、なかでも47年7月の洪水は沿川流域の被害は甚大なものでした。その後、治水対策が着々と進められてきましたが、いまだ十分な対策が完了していない状況です。



鳥取県川本町谷



江津市本町



鳥取県羽須美村上田

## 水害年表

西 暦	災害・洪水
1233年	江の川氾濫、流路変更で石河村(現川本町)が分断される
1366年	江の川氾濫、人家151軒流失、死者473人
1820年	江の川大洪水、流失家屋400軒余、死者多数
1846年	江の川、早水川氾濫、流失家屋17軒、死者14人
1866年	江の川、出羽川洪水、堤防決壊、田畑流出
1873年	江の川、八戸川出水、桜江町では19.14mの増水、各所決壊し、家屋の浸水・流失
1893年	江の川、八戸川大洪水、流失家屋田畑多数
1919年	江の川大洪水、郷川大橋の一部が流出他、橋梁流失、口羽村で山崩れ。死者多数、浸水・流失家屋多数
1943年	石見地方の河川氾濫、大水害。死者93名、行方不明者15名、流失家屋33戸、全壊家屋184戸、半壊家屋1,770戸、床上浸水家屋863戸、流失橋梁の被害66,500円、道路被害19万4千円
1965年	江の川大洪水、橋梁多数流失、浮船が浮上流出して下流の架橋へ衝突。川戸の最高水位13.25m
1972年(S47)	山陰地方に梅雨前線による集中豪雨、石見の各河川が氾濫、大水害。県全体の被害は、死者26名、負傷者79名、行方不明者2名、流失家屋95戸、全壊家屋559戸、床上浸水11,845戸、床上浸水26,449戸、被害総額840億6,432万円

西 暦	災害・洪水
1983年(S58)	県西部の沿岸部を中心とした集中豪雨災害。川中観測所では14.35mに達し各地で浸水災害。江の川流域の被害は70箇所、約16億円
1985年(S60)	梅雨前線の活動により山陰沿岸部を中心として2週間わたる大雨。江の川流域では無堤地区を中心に442haが氾濫、床上浸水19戸、床上浸水64戸、道路の冠水、山崩れによる被害総額約20億円



鳥取県川本町三島



鳥取県桜江町川崎

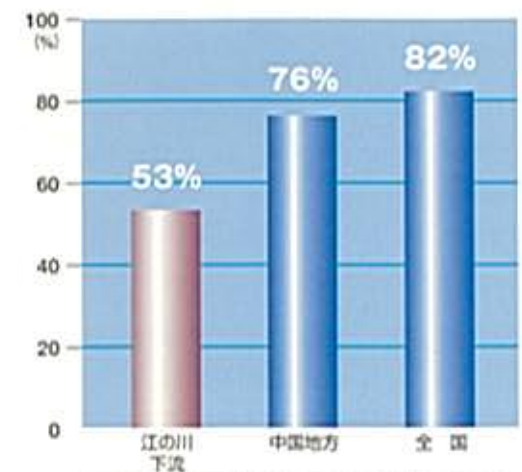


鳥取県桜江町川戸

## もしも今、洪水が起こったら、江の川の周りは安全なの?

江の川の堤防の整備率は、全国平均に比べてもあまり高いとは言えません。まだまだ無堤防地区が数多く残されている江の川下流地域では、昭和47年7月の大洪水の際の出水の実績水位を流しうる高さの堤防ですら約53%しか整備されておらず、早急に治水対策を行わなければならない箇所が数多く残っています。

## 直轄河川の堤防の整備率



※資料は指定堤防の整備率を平成12年度河川使用費をもとに算出した。



## 「水防災対策特定河川事業」 ってなんだろう？

通常の築堤方式で施工した場合、堤防と背後の急峻な山に囲まれた窪地に家屋が残ることになります。このことは住宅環境の悪化や多くの家屋等の移転による地域社会の形成破壊、貴重な田畑の著しい減少など、多くの弊害を招きます。これらの弊害を解消するため、水防災対策特定河川事業は宅地の盛土、家屋の高上げ等を実施することにより治水の安全度を確保しつつ、山間部の狭い土地の有効利用を図ります。

## 水防災対策特定河川事業と 河川改修事業の関係(イメージ図)

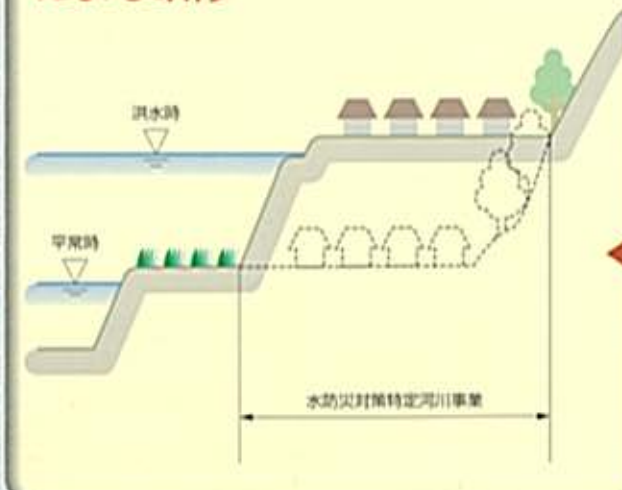
現況



築堤方式による改修



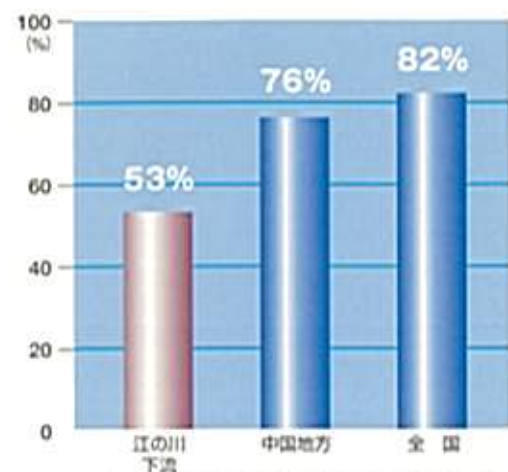
水防災対策特定河川事業  
による改修



## もしも今、洪水が 起こったら、江の川の 周りは安全なの？

江の川の堤防の整備率は、全国平均に比べてもあまり高いとは言えません。まだまだ無堤防地区が数多く残されている江の川下流地域では、昭和47年7月の大洪水の際の出水の実績水位を流しうる高さの堤防ですら約53%しか整備されておらず、早急に治水対策を行わなければならない箇所が数多く残っています。

## 直轄河川の堤防の整備率



※資料は国土交通省の整備率を平成12年度河川使用をもとに算出した。

西暦	災害・洪水
1983年 (S58)	県西部の沿岸部を中心とした集中豪雨災害。川平観測所では14.35mに達し各地で浸水災害。江の川流域の被害は70箇所、約16億円
1985年 (S60)	梅雨前線の活動により山麓沿岸部を中心として2週間にわたる大雨。江の川流域では無堤防地区を中心に442haが氾濫、床上浸水19戸、床下浸水64戸、道路の冠水、山崩れによる被害総額約20億円



石川県三朝町三朝



石川県江川町江川



石川県江川町江川





## 自然との共存

美しい自然を育み、暮らしに潤いを与えてくれる優しさ。ときにはすべてを飲み込んでしまう厳しさ。江の川の持つさまざまな表情と上手に付き合いながら、これからもずっと一緒に歩み続けていきたい。自然と共に生きていくために、私たちは考えます。

### 豊かな自然環境と安全で快適なまちづくり

私たちは、江の川流域に暮らす多くの人々が安心して生活できる安全なまちづくりを進めるために、昭和47年7月の大洪水で甚大な被害を被った、弱小堤の整備、無堤部分の解消を重点的に、水防災対策特定河川事業や築堤事業などの治水対策を行っています。

また、自然の生態系や景観、江の川沿川に暮らす人々の生活形成を壊さないように留意しながら、道路や公園などの生活環境の整備も併せて行い、豊かな水と自然環境に恵まれた、快適で暮らしやすいまちづくりを進めています。

多くの人々が  
**安心して暮らせる**  
安全な川づくり

未来を見据えた川づくり





## 自然との共存

美しい自然を育み、暮らしに潤いを与えてくれる優しさ、ときにはすべてを飲み込んでしまう厳しさ。江の川の持つさまざまな表情と上手に付き合いながら、これからもずっと一緒に歩み続けていきたい…。自然と共に生きていくために、私たちは考えています。

### 豊かな自然環境と安全で快適なまちづくり

私たちは、江の川流域に暮らす多くの人々が安心して生活できる安全なまちづくりを進めるために、昭和47年7月の大洪水で甚大な被害を受けた、弱小堤の整備、無堤部分の解消を重点的に、水防災対策特定河川事業や築堤事業などの治水対策を行っています。

また、自然の生態系や景観、江の川沿川に暮らす人々の生活形成を壊さないように留意しながら、道路や公園などの生活環境の整備も併せて行い、豊かな水と自然環境に恵まれた、快適で暮らしやすいまちづくりを進めています。

多くの人々が  
**安心して暮らせる**  
安全な川づくり

### 未来を見据えた川づくり



豊かな水や美しい自然を育む  
**「生きものにやさしい」**  
川づくり

住みよい町をつくる  
**「遊び、学び、憩える」**  
川づくり


## 江の川下流(島根県内)で完成及び実施中の 水防災対策特定河川事業のご紹介


これまで度々水害の被害を受けてきた江の川下流地域を中心に、水防災対策特定河川事業を進めています。なお、実施にあたっては、治水の安全度を確保することはもちろん、地域住民の方々のご意見を反映させていただきながら、生活環境の整備を併せて行っています。

市町村名	箇所名	事業採択年	進捗状況
① 江津市	川平地区	平成13年度	実施中
② 桜江町	志谷地区	昭和61年度	昭和63年度完成
③ //	川越地区	平成5年度	平成11年度完成
④ //	坂本地区	平成6年度	平成12年度完成
⑤ //	鹿賀地区	平成元年度	平成6年度完成
⑥ 川本町	松ヶ崎地区	昭和63年度	平成2年度完成
⑦ //	下三島地区	平成5年度	平成10年度完成
⑧ //	多田地区	平成5年度	実施中
⑨ 邑智町	市井原地区	平成12年度	実施中
⑩ 大和村	郷上地区	平成元年度	平成6年度完成
⑪ 羽須美村	上ヶ畑地区	平成10年度	実施中

(平成13年度現在)



 国土交通省浜田工事事務所  
〒697-0034 浜田市相生町3973 ☎0855(22)2480  
URL: <http://www.hamada.milt.go.jp/>

 島根県川本土木建築事務所  
〒696-8510 邑智郡川本町大字川本279 ☎0855(72)0521  
URL: <http://www.sctc.or.jp/doboku/kawamoto/index.html>

平成14年1月